

わが社の
技術の管理は
たぶん大丈夫！



だなんて
企業の一大事を
後回しに
していませんか？

技術等情報管理 認証制度



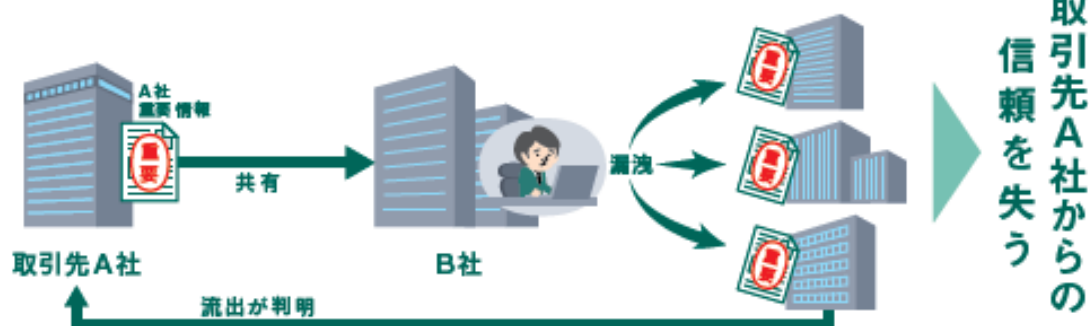
技術をはじめとする、 大事な情報の管理が不十分・・・



企業経営の重要な資源である「技術をはじめとする大事な情報」。その管理が不十分で情報漏えい・紛失を起こすと、取引停止になったり業務や売上に大きな損害を被る可能性があります。また、取引条件に適切な情報管理が求められることも増えています。

情報漏えい・紛失による被害イメージ

＜取引先の重要情報流出で信頼を失ったB社＞



＜関係者による技術流出で大きな損失を被ったC社＞



大事な情報を守るために、
情報の管理に
取り組むことが大事！

そのような時に
おすすめなのが・・・

「技術等情報管理認証制度」

「技術等情報管理認証制度」の主な特徴

国で示した「守り方」に則して情報が守られているかどうかを、国の認定を受けた機関による認証を受けられる制度です。

セルフチェック
からスタートできる

情報管理対策の選択を
含めて身の丈にあったところ
からスタートできる



認証は2段階から
選ぶことができる

- 第1段階: 専門家による内部監査
- 第2段階: 認証機関による現地審査

サポートコンテンツで情報管理対策の推進を支援

1 セルフチェックシート

必要な情報管理対策をチェックし、自社の情報管理状況を把握



※イメージ

2 研修素材

各情報管理対策の解説や具体的な対策を例示



※イメージ

企業からの期待の声 「本認証制度のおすすめポイントここ!」

打田製作所(金型製造)

- 自社及び顧客の技術情報・知的財産を守る仕組みづくりに、役立つと感じました。
- 将来ISMS等、ISO規格取得を目指す場合も、第1段階として活用できると思います。



城南電機工業(自動車部品製造)

- 認証機関や外部の専門家のサポートにより、効率的な情報管理活動ができます。
- 対外的には“認証”というお墨付きで営業活動への貢献についても期待できそうです。



FAQ よくあるご質問と回答

Q 制度名にある「技術等情報」は、何を示しているのでしょうか？

A 企業の強みとなる情報や他社との差異化のために重要な情報など、意図せざる流出から守らないといけない情報です。以下に例示するような、情報があります。



金型・試作品



製造装置・製造プロセス情報



研究情報



製造設計図・CAD



顧客情報・仕入先情報



業務マニュアル・製造/業務ノウハウ

Q 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証との違いは何ですか？

A 本認証制度は、自社のレベルに合わせて情報管理対策を選択でき、まずは内部監査による自己宣言に対する認証、次に認証機関による現地審査での認証、と段階的になっているので、ISMS認証へのステップとして活用することができます。

詳細についてはウェブサイトへ

経産省 重要技術マネジメント

検索

